

# 86 年次稲門会 × 学生団体「Beyond 2020 NEXT PROJECT」コラボレーションイベント 「アントレプレナーシップで混迷の世界をぶっ飛ばせ！」

## 登壇者

参加登録 QR コード



### ■ パネルディスカッション 1 「迷いを吹っ飛ばして起業する」

田中克明 株式会社 amulapo CEO



宇宙ロボットの専門家、博士（工学）。宇宙開発のベンチャー企業にて月面探査車のモビリティ開発を中心に従事。その後、(株) amulapo の代表取締役として、xR、ロボット、AI 等の ICT 技術を用いた宇宙コンテンツや宇宙ソリューションの開発に従事。宇宙をはじめとした科学技術の発展に向けて、科学技術の発信、社会実装や人材育成のための仕組みづくりに取り組む。

畠山 祥 Fuseki 株式会社 代表取締役



1999 年生まれ、富山県高岡市出身の起業家・研究者。尾崎氏らと S-Booster 2023 にて最優秀賞・NEDO 賞をダブル受賞した「小惑星に、毎月いくばく時代を創る」の構想をビジネスとして社会実装すべく、共同創業者として Fuseki 株式会社 (旧 Ofraction) を立ち上げる。自ら主導したプロダクト開発においてグッドデザイン賞を受賞した実績を有するほか、世界最大級のテクノロジー見本市である「CES」において日本代表企業への選出を果たすなど、グローバルイノベーションの最前線で評価を獲得してきた。スタンフォード大学客員研究員および総合研究大学院大学特別研究員として高度な自律制御技術の研究に従事しつつ、最先端の宇宙工学知見と打たれ強いスタートアップ経営の実行力を武器に、事前探査から掘削にいたる小惑星資源ビジネス、およびプラネタリーディフェンスの社会実装をコアメンバーとして牽引している。

平井理久 レイワセダ株式会社 CEO



東京都出身。大学では機械科学・航空宇宙学科を専攻し、在学中に同学科の畠山とレイワセダ株式会社を起業。2023 年に事業会社へ就職し、フルタイムのエンジニアとしてコミットする一方、レイワセダには引き続き取締役として従事。2026 年 4 月より代表取締役社長に就任。Adobe Premiere Pro 向けの AI 動画編集プラグイン「Ready シリーズ」の開発・運用を担当。その他受託案件をフルスタックエンジニアとして従事。

後村怜児 株式会社 One by One Music CEO



東京都出身。2022 年早稲田大学社会科学部を卒業。在学中に WASEDA-EDGE 人材育成プログラムに参加し、愛犬のための科学的に検証したリラクゼーション音楽を届けるサービスの企画・事業立ち上げに携わった。現在は代表職を畠山から引き継ぎ、販売戦略や事業促進、アプリ開発 PM や地方病院の DX 推進など多岐に渡って活動を行っている。

### ■ パネルディスカッション 2 「スタートアップとして生き抜くためには」

田中大貴 株式会社 Urth CEO



東京都出身、1997 年生まれ。早稲田大学建築学科を卒業後、同大学大学院創造理工学研究科で修士号を取得し、博士課程に進学。在学中の 2019 年度、文部科学省 EDGE-NEXT プログラムの一つである早稲田大学 Gap Fund Project で最高評価および支援を受け、2020 年に株式会社 Urth を共同創業。建築の技術を活かした Web メタバース「metatell」を開発・提供し、企業や自治体がメタバースを新しいコミュニケーションツールとして事業にインパクトのある形で活用できるよう支援している。

新保 正吾 (株)VLEAP CEO



早稲田大学社会科学部卒。在学中の 2020 年に早稲田大学ギャップファンドプロジェクトに採択され、株式会社 VLEAP を創業。卒業研究をもとに、VR・SNS に関するショートペーパーを IEEE VR へ共同著者として提出。卒業後は、NTT ドコモ、JTB との「バーチャル道頓堀」や、東京科学大学（旧・東京工業大学）、早稲田大学などへのメタバースシステム開発・導入を手掛ける。2024 年より 3 年連続で東京都「現場対話型スタートアップ協働プロジェクト」に採択され、3 つの部局にメタバースを含む Web サービスの開発・導入を実施し、2026 年度も 2 件導入予定。東京都の政策目的随意契約に係る認定を 3 件取得。

中島 貴志 株式会社 Genics 執行役員



千葉県富里市出身。早稲田大学法学部卒。在学中は国際法模擬裁判に勤しんだ。卒業後は、ヘッドライン社にて主に新規事業創出促進イベントやスタートアップと大企業とのマッチング系イベントの企画・運営に取り組む。その傍ら、海外のイノベーション手法の日本導入と大企業向けのイノベーション支援を行うマキシマイズ社にて、企業、地方自治体、大学等におけるの新規事業創出のためのワークショップの企画・運営・講師を務める。2020 年より株式会社 amulapo へ関わり、バックオフィスやロビイング、新規事業の創出に取り組む。2021 年より、IT コンサルタントとして、地方自治体の業務改善、DX 推進、政策効果検証等に従事。2025 年より、Genics 社にて事業推進執行役員として R&D 以外の全てを担当。

### ■ パネルディスカッション 3 「混迷の時代に VC としてどうするか？」

瀧口匡 ウェルインベストメント株式会社 代表取締役社長



愛媛県出身。早稲田大学ビジネススクール、早稲田大学博士課程修了。学術博士（Ph.D. 国際経営専攻）。野村證券にて財務情報部、事業開発部を歴任。その後、ベンチャーファンドやヘッジファンドのマネジメントを経て、2005 年に早稲田大学発ベンチャーキャピタルであるウェルインベストメントの代表取締役社長に就任。国内外で多くのベンチャー企業の成長をサポートしてきた。また、2009 年に現在の統合報告書の概念の基礎となったインタンジブルズ（知的資源）の分野において早稲田大学で博士号を取得した後、早稲田大学ビジネススクールで教鞭をとる。現在、早稲田大学商学大学院客員教授、早稲田大学ビジネススクール客員教授、日本ベンチャー学会理事、WICI ジャパン理事、国立研究開発法人理化学研究所投資等委員等を務める。

藤田健司 イノベーターズ・プラットフォーム協会 代表理事／三井住友海上株式会社 シニアクロスセクター・イノベーションフェロー／三井住友海上キャピタル株式会社 投資パートナー



東京都出身。1990 年、早稲田大学法学部卒業。グループ業務プロセス改革プロジェクトに参画後、営業推進部門・企業営業部門を経て、2016 年より現職。VC やアクセラレーターとの協業を通じ、新たなリスクソリューションを展開し、最新の保険技術を活用してスタートアップ企業の成長を支援。また、三井住友海上キャピタルのパートナーを兼務し、投資開発、ビジネスマッチング、オープンイノベーションを活用した投資先のバリューアップにも取り組むとともに、2026 年 2 月よりイノベーターズ プラットフォーム協会代表理事に就任しエコシステムの更なる発展に尽力している。

## 清水和彦 フォーススタートアップス株式会社 取締役 / フォーススタートアップスキャピタル合同会社 ジェネラルパートナー



株式会社グローリアス、株式会社 RSS 広告社（現 Unipos 株式会社）を経て、2012 年に株式会社ウィルグループに入社。子会社の株式会社セントメディア（現 株式会社ウイロブ・ワーク）にてネットジンザイバンク事業の立ち上げに参画。2018 年執行役員に就任し人事部門を統括、2019 年に取締役就任。2021 年フォーススタートアップスキャピタル合同会社ジェネラルパートナーに就任。同年より日本ベンチャーキャピタル協会 VC 会員。

## 東明宏 グローバル・ブレイン株式会社 パートナー



2012 年よりベンチャー投資業務に従事。シード・アーリー〜シリーズ A 以降のステージまで一貫通貫での実務経験を有する。セブテーニ・ホールディングスにて子会社役員、グリーにてプラットフォーム事業の立ち上げ/ゲーム会社への投資業務を経て、2012 年よりグロービス・キャピタル・パートナーズにてベンチャー投資業務を開始、2019 年からは、自ら W fund を設立、2 つのファンド（120 億円）を立ち上げた。2026 年グローバル・ブレイン参画。Forbes「日本で最も影響力のあるベンチャー投資家 BEST10」、日本ベンチャーキャピタル協会「Most Valuable Young VC 賞」、Japan VentureAward「ベンチャーキャピタリスト奨励賞」等受賞。

## ■ パネルディスカッション 4 「何が君たちを起業させたのか聞いてみよう」

### 小池伶佳 Cinderelax Inc. CEO / Speaker / Researcher



早稲田大学在学中に文部科学省主催プロジェクトにて最優秀賞を受賞・早稲田大学公式ファンドなどより資金調達を受け、50 代の社会人らを集結させ創業。日本の強みであるアニメのグローバル展開を主軸に米国市場へ参入。米国での事業活動を通じて王族・セレブ・世界的大企業経営者らとの接点を得る中で、彼らが成功の先で思想家や宗教家らに師事し、「生きるとは何か」という根源的な思想を重視していることに着目。時代や社会が激変しても変わらない「生きる哲学」にこそ、「人生の意思決定の軸（命の使い方）」があるのではないかと自身も様々な思想家や伝統継承者のもとで探求を深める。その知見を見華させ、「Find the BEat」フレームワークを開発した。その後、TEDx、東京都、早稲田大学等国内外で登壇を行う。現在は東京大学にて研究活動および執筆に従事。

### 古井茉香 Senbay 株式会社 代表取締役 CEO



2002 年、青森県八戸市生まれ。高校時代より学生団体を立ち上げ、日本青年会議所や東北の企業と連携しながら、まちづくりや教育事業に携わる。米国留学を経験後、早稲田大学社会科学部に進学。2022 年より Zebras and Company にて、地域型インパクト投資やゼブラ企業の普及に従事。2025 年に Senbay 株式会社を創業。地方でキャリアを描きたい若者と地域企業をつなぐ採用支援事業を展開し、祭りを起点に地域の仕事と暮らしを体感する滞在型インターンプログラム「おまつりインターン」を主催する。2023 年、経済産業省主催「ゼロイチ」第 1 期ファイナリスト、MAKERS UNIVERSITY10 期生。

## 根津瑚春 早稲田大学公認 WAVOC 支援団体リトルヤングプロジェクト 元代表 / 早稲田大学先進理工学研究科 在学中



朝日研究室修士 1 年。研究室では食糧危機および家畜による食肉生産に伴う環境負荷、安全保障上の課題解決を目指し、資源循環型培養肉生産システムの開発に従事。学部時代はゴミ拾い、災害支援、地域創生、放置竹林問題など多岐にわたるボランティアで好奇心の赴くままに活動。なかでも、情勢が不安定なミャンマーから高田馬場地域に逃れて暮らすミャンマールーツの子どもたちへの学習支援および居場所づくりを行う「リトルヤングプロジェクト」では初年度代表を務め、活動の推進に貢献した（2026 度より早稲田大学ボランティアセンター公認団体）。研究による持続可能な食糧生産技術開発と、現場に根ざした社会課題解決の双方からよりよい未来の創出に関心を寄せる。

## 中村優心 学生団体 shining 代表 / 株式会社プロラボウェルネスパートナーズ 専務取締役



神奈川県出身。現早稲田大学人間科学部 2 年、学生団体 shining 代表兼株式会社プロラボウェルネスパートナーズ専務取締役。中高時代、陸上選手として打ち込む中摂食障害とうつ病を経験。メンタル不調で、自殺する人を無くしワクワクする人生を送れる世の中にすべくヘルスケア起業を決断。その後早稲田大学に進学し心理学を学びながら、心のサポート×受験で大学受験塾を起業。新たに to B でヘルスケア事業を起こすべく、学生団体 shining 代表に就く。shining にて若者が変革する新時代を作るべく、経営者との人脈を構成しながら若者と企業の架け橋になる日本の学生団体イベントを運営。また、現在プロラボウェルネスパートナーズの専務取締役として、従業員の健康寿命を伸ばす B to B ビジネスを開始。

## ■ パネルディスカッション 5 「爆速 AI 時代をどのように捉えて勝負するのか」

### 佐藤 傑 株式会社 Uvation 代表取締役 CEO / 早稲田大学法学部 在学中



岩手県出身。早稲田大学法学部在学中に生成 AI と出会い、学内で AI 研究会を立ち上げて 100 名以上の学生コミュニティに育てる。X では「ChatGPT ガチ勢」として実務に使える AI 活用法を発信し、フォロワーは約 10 万人。2024 年 2 月、在学中に株式会社 Uvation を設立。上場企業・自治体を中心に 100 社以上・4,000 名以上へ生成 AI 研修と AI エージェント導入支援を提供し、自社でも 60 体を超える AI エージェントを日常業務で運用している。日経ビジネススクール講師、SB クリエイティブ「ビジネス+IT」連載。著書に『AI エージェント仕事術』『Claude 仕事術』（SB クリエイティブ）、『AI 推進担当になったら読む本』（大和書房）。

## 小菅太平 株式会社フレッジ 代表



2002 年生まれ。早稲田大学創造理工学部経営システム工学科卒。学生時代から iOS アプリなどの個人開発に取り組み、企画から実装・リリースまでを一人で手がける。東大発の上場 AI 企業でエンジニアとして LLM を使った AI アプリの開発に携わったのち、2025 年 10 月に株式会社フレッジを設立。生成 AI の導入支援（AX）、AI エージェント開発、AI 駆動アジャイル開発を展開し、業務の整理から現場への定着まで一貫通貫で手がける。10 万人規模のフェスを支える LINE 連携システムの開発・来場者データ分析、グループ会社の経営数値の一元化、2,000 社が導入する POS レジの保守・問い合わせ対応の自動化など、生成 AI を活かした業務の仕組みづくりに取り組んでいる。

### 舟橋慧起 合同会社 Aitem 代表



早稲田大学文化構想学部 3 年。高校〜大学 2 年次にかけて実況キャスターとして活動し、日本ハンドボールリーグや複数の eSports タイトルの大会実況を経験。その後、AI 領域へ活動を広げ、早稲田 AI 研究会の代表を務めるなど、学生層への AI 普及にも貢献。現在は、会社を立ち上げて学業を続けながら、企業向けの AI 導入支援、業務効率化、「ブログ記事の AI 自動投稿サービス」等を展開。上場企業 2 社を含む法人の DX・AI 活用支援に携わっている。また、VRChat を中心としたメタバース領域でも、クリエイターチームの組成、アバター衣装ブランドの立ち上げなどを経験。異なる領域を横断しながら、テクノロジーを事業へ落とし込む実践力を強みとしている。

## 吉田志織 株式会社 Linksenpai 代表取締役



ペルーと米国で育ち、2026 年 9 月、早稲田大学基幹理工学部を卒業。21 歳で株式会社 Linksenpai を設立。国際バカロレア専門塾「IB アカデミー」と、米国の共通試験 SAT の専門塾「SAT アカデミー」の 2 つのオンラインスクールを運営。創業から 2 年で講師 250 名を採用、800 名の家庭の学習・進路を支援。講師評価や運営業務に AI を活用し、教育の質向上と事業成長の両立を目指している。大学 2 年次に WASEDA-EDGE Demo Day にて最優秀賞を受賞。2024 年 2 月、経済産業省の起業家育成・海外派遣プログラム「J-StarX Women's Startup Lab 女性起業家コース」に採択され、渡米

## ■ パネルディスカッション6「アントレプレナーシップで常識をくつがえせ」

葉村真樹 ポストンコンサルティンググループ パートナー&ディレクター・BCG 研究所フェロー



東京大学大学院工学系研究科博士後期課程修了・博士（学術）、コロンビア大学建築都市計画大学院修士課程修了（MSc）、早稲田大学政治経済学部政治学科卒業。Google 日本法人（経営企画室兼営業戦略企画部統括部長）、Twitter Inc.（ブランド戦略東アジア統括）、LINE 株式会社（執行役員 法人事業戦略担当）等を経て、BCG に入社。BCG 研究所のフェローも兼務。BCG 交通・都市開発・運輸グループ、およびパブリックセクターグループのコアメンバー。デジタルプラットフォーム企業における事業戦略、ないし事業責任者として豊富な経験を有するとともに、複数のプロフェッショナルファームにおいて都市・地域開発、産業政策、スマートシティ事業戦略のほか、デジタルトランスフォーメーション、イノベーション・新規事業戦略などのプロジェクトを手掛けている。東京都市大学デザイン・データ科学部でソーシャルシステムデザインやイノベーションプラットフォームについて教授を務める。

鳥山廣樹 Kaluza Japan 株式会社 Business Development Manager（三菱商事株式会社）

早稲田大学先進理工学部卒、同大学理工学術院先進理工学研究科 生命医科学専攻修了。2016 年に三菱商事株式会社に入社し、水素エネルギーの国際サプライチェーン事業開発、香港駐在でのアジアパシフィック・中東地域の火力・再エネ発電事業の事業投資先管理・新規事業投資に従事。2022 年より電力・モビリティ・デジタルを掛け合わせた新規事業開発に携わり、2024 年 8 月に、エネルギーデバイスの遠隔最適化制御サービスを提供する Kaluza Ltd.（英国本社）と三菱商事株式会社にて本邦合弁会社 Kaluza Japan 株式会社を創立、事業運営全般・新規事業開発担当として同社に外向。



大島翼 株式会社 WithLIVE 代表取締役

早稲田大学大学院 先進理工学研究科 物理学及应用物理学専攻修了。在学中に EDGE プログラムで起業を学び、2016 年に起業。修了後、ヤフー株式会社(現 LINE ヤフー株式会社)に入社。副業として手がけていたオンライン特典会サービス「WithLIVE」が 2020 年に単月売上 1 億円超えを達成し、独立。2022 年 9 月に株式会社サイバー・バズ(東証グロース)に株式会社 WithLIVE を 6 億円で売却。現在も株式会社 WithLIVE の代表取締役として経営にあたっている。



木村庸平 ユニゾン・キャピタル株式会社

早稲田大学創造理工学部卒。同大学理工学術院先進理工学研究科にて修士課程修了。新卒で三井物産株式会社に入社し、ヘルスケア/アウトソーシング/人材教育・紹介等領域の事業開発、投資および経営管理業務を担当。中国赴任中は、投資先の食品卸売企業にて新規案件の推進に携わる。その後、PE ファンドのユニゾン・キャピタル株式会社に移り、現在は投資実行から投資先企業のバリューアップ業務に従事。



## ■ パネルディスカッション7「混迷の時代にアントレプレナーには何が必要か」

林千晶 株式会社 Q0 代表取締役社長／株式会社ロフトワーク 共同創業者・相談役



早稲田大学商学部、ボストン大学大学院ジャーナリズム学科修了。花王を経て、2000 年に株式会社ロフトワークを起業、2022 年まで代表取締役・会長を務める。その間、Web デザイン、ビジネスデザイン、コミュニティデザイン、空間デザインなどに取り組んだ。退任後、「地方と都市の新たな関係性をつくる」ことを目的とし、2022 年 9 月 9 日に株式会社 Q0 を設立。北海道や秋田などの地域を拠点において、地元企業や創造的なリーダーとのコラボレーションやプロジェクトを企画・実装し、時代を代表するような「継承される地域」のデザインの創造を目指す。主な経歴に、グッドデザイン賞審査委員、経済産業省 産業構造審議会、「産業競争力とデザインを考える研究会」など。森林再生とものづくりを通じて地域産業創出を目指す、株式会社飛驒の森でクマは踊る（通称：ヒダクマ）取締役会長も務める。

重松大輔 株式会社スペースマーケット 代表取締役社長



1976 年千葉県生まれ。千葉東高校、早稲田大学法学部卒。2000 年、東日本電信電話(株)入社。主に法人営業企画、プロモーション等を担当。2006 年、(株)フォトクリエイイトに参画。一貫して新規事業、広報、採用に従事。国内外企業とのアライアンス実績多数。2013 年 7 月、同社にて東証マザーズ上場を経験。2014 年 1 月、(株)スペースマーケットを創業。2016 年 1 月、シェアリングエコノミーの普及と業界の健全な発展を目指すシェアリングエコノミー協会を設立し代表理事（現在、理事）に就任。

永崎将利 Space BD 株式会社 代表取締役社長



1980 年生まれ、福岡県北九州市出身。2003 年早稲田大学教育学部卒業後、三井物産にて人事・鉄鋼貿易・鉄鉱石資源開発に従事。2013 年独立、1 年間の無職混迷の期間を経て、2014 年にナガサキ・アンド・カンパニー設立、教育事業を手掛け、2017 年 Space BD 創業。設立 9 か月で JAXA 初の民間開放案件「国際宇宙ステーション（ISS）超小型衛星放出事業」の事業者に選定されたことを皮切りに、衛星打上げ・ISS 利用に関する JAXA 公募全件で事業者に選定され、100 機超の衛星打上げを手掛けるなど、宇宙商社®として人工衛星打上げサービス等をグローバルで展開、宇宙の基幹産業化に挑んでいる。著書に『小さな宇宙ベンチャーが起こしたキセキ』（2020 年、アスコム）

## モデレーター・司会

服部真也斗 早稲田大学大学院 創造理工学研究科 経営デザイン専攻 博士後期課程 2 年／Beyond Alumni 会長



早稲田大学創造理工学部経営システム工学科卒。同大学創造理工学研究科経営デザイン専攻にて修士課程修了後、博士課程へ進学。専門は経営工学、需要予測、アイデア創出。経営工学の知識と応用能力を競う Industrial Engineering Scientific Competition では世界 Top 10 に進出した実績を有する。また、Beyond 2020 NEXT PROJECT の 3 代目代表を務め、早稲田大学グローバル科学知融合研究所との連携を推進。5 年間にわたり累計 100 回以上のアイデア創出ワークショップを企画開催。

遠藤竜仁 株式会社リクルート／Beyond Alumni 副会長



2019 年早稲田大学本庄高等学院、2023 年早稲田大学先進理工学部卒業後、株式会社リクルート勤務。ゼクシオンライン招待状の立ち上げ期の PdM 及び グッドデザイン賞受賞。学生時代は、Beyond 2020 NEXT PROJECT 事務局長を務める傍ら UC San Diego MicroMBA プログラムや副専攻ビジネスクリエーションコースを修了。岩崎秀雄研究室 metaPhorest にて「銭湯における衛生と身体性に纏わるバイオアートの模索」というテーマで学士取得。

倉橋輝 大阪大学大学院 生命機能研究科 5年一貫制博士課程 2年



早稲田大学生物物性科学研究室（朝日研究室）に所属し、2025年3月に生命医科学科を卒業。Beyond 2020 NEXT PROJECT では2022年度から幹事、2024年度には4代目幹事長を務めた。現在は理化学研究所BDRにて、ライフステージ変化に伴う脳の可塑性を研究中。

松本綾香 早稲田大学大学院 先進理工学研究科 先進理工学専攻 一貫制博士3年／Beyond 2020 NEXT PROJECT 幹事



早稲田大学生物物性科学研究室（朝日研究室）に所属。専門は物理化学、キラル科学、結晶光学。2026年度より日本学術振興会特別研究員DC1に採択されている。分子科学若手の会関東支部運営メンバー。第24期科学ジャーナリスト塾塾生。学生団体Beyond 2020 NEXT PROJECTには2020年度から参加し、2022年度に総務、2023年度からは事務局長を務めたのち、2025年度には幹事長を務めた。2026年度からは幹事メンバーの一員として活動している。

鶴岡秀士 早稲田大学 創造理工学部 経営システム工学科 4年／Beyond 2020 NEXT PROJECT 幹事長



早稲田大学データサイエンス研究室（後藤研究室）に所属。2024年度よりBeyond 2020 NEXT PROJECT メンバー。2026年度より現職。これまで、同団体では人と活動することをテーマとしたイベント「1人ではできないことを達成するには？ 一人を動かす起業の要諦ー」や、遊びの視点からキャリアを見つめなおすイベント「キャリア形成にこそ必要な“遊び”とは？」の実行委員長を務めた。現在は、データ分析を起点としたビジネス上の意思決定に強い関心を持ち、実社会に価値をもたらすデータサイエンティストを目指して日々経験を積んでいる。

久米川夏穂 早稲田大学 国際教養学部 3年／Beyond 2020 NEXT PROJECT 事務局長



2023年度よりBeyond 2020 NEXT PROJECT 幹事メンバー。これまでに同団体にて「自分の強みを活かすリーダーシップとは？-リーダーを支える側からその在り方を探る-」「学校生活をデザインする-なんとなくの毎日から抜け出すためには？」などで実行委員長を務める。また、国連を支える世界子ども未来会議PJでは、学生スタッフとしてNY国連本部を訪問する。昨年秋よりイギリスに1年間留学し、社会学を専攻。ベルリンで開催された、日本文化を再解釈し創造へとつなげる展示会「守破離」に運営として携わる。

秋山友花 早稲田大学 社会科学部 2年／Beyond 2020 NEXT PROJECT 幹事



早稲田大学本庄高等学院卒業後、早稲田大学社会科学部に進学。中学3年時に地元群馬県伊勢崎市の伝統的工芸品である伊勢崎絨の技術に魅せられ、現在まで技を固定観念に捉われないユニークな方法で紡いでいけるよう奮闘してきた。現在は、インターンで土地に息づくものづくりのブランディングや記事化の手法を学びつつ、伊勢崎絨の記憶のアーカイブ活動をしている。

山崎花菜 早稲田大学 国際教養学部 2年／Beyond 2020 NEXT PROJECT 幹事



アメリカの高校から早稲田大学国際教養学部に進学。大学では国際関係と教育を主に学んでいる。2025年度よりBeyond 2020 NEXT PROJECT メンバー、2026年度より現職。教育ベンチャー企業で1年半にわたりインターンに取り組んだ。こどもや国際分野への関心を持ちながら、NPO団体でのインターンやボランティアへの参加を通して学びを深めている。

鶴谷 武親 早稲田大学 ビジネススクール 客員教授



埼玉大学教養学部卒業、聖路加国際大学看護学部卒業、金沢工業大学KIT虎ノ門大学院修了。セコムグループ経営企画部門を経て、デジタルハリウッド、アイ・エム・ジェイ、デジタルスケープ、ポリゴンマジック等の創業に参画した。米国教育機関DH Institute of Media Arts CEOを経て、1999年フューチャーインスティテュートを設立。2014年、医療法人社団ナイズの幹部らと共にCAPS株式会社を設立。他に、NPO法人CANVAS評議員、NeoLab株式会社取締役、ポリゴンマジック株式会社代表取締役、ジープラ株式会社代表取締役、K.I.T.虎ノ門大学院客員教授。社会人教育をはじめ、博士人材の育成、起業家育成、大学発ベンチャーの育成にも力を入れる。

挨拶

野中朋美 早稲田大学理工学術院 教授



専門は生産システム工学、サービス工学。神戸大学大学院システム情報学研究科特命助教、青山学院大学理工学部経営システム工学科助教、立命館大学食マネジメント学部准教授・立命館EDGE+R副総括責任者などを経て2023年4月より現職。JAXA宇宙戦略基金SX-CRANE「宇宙QOL研究開発拠点」研究代表者、文部科学省宇宙航空科学技術推進委託費・宇宙専門人材育成「ECLSS・宇宙QOL製品・サービスデザイン人材育成プログラム」研究代表者。持続可能なビジネス・社会システムデザイン、人間中心ECLSS・宇宙QOL研究に従事。文部科学省国立研究開発法人審議会臨時委員（宇宙航空研究開発機構部会）、経済産業省産業構造審議会グリーンイノベーションプロジェクト部会、神奈川の宇宙関連産業の振興を考える有識者会議構成員、尾道市ウェルビーイング政策アドバイザー、IFIP WG5.7 member、日本経営工学会理事、日本創造学会理事、日本イノベーション協会理事、エコデザイン推進機構理事、和食文化学会理事などを務める。

朝日透 早稲田大学理工学術院 教授



都立白鷗高校卒業、1986年早稲田大学理工学部応用物理学科卒業、1988年早稲田大学大学院理工学研究科物理学及応用物理学専攻修士課程修了、1990年早稲田大学理工学部助手、1991年早稲田大学大学院理工学研究科物理学及応用物理学専攻博士後期課程満期退学、1992年博士（理学）取得。2007年早稲田大学ビジネススクールにて経営学修士を取得。現在、早稲田大学グローバル科学知融合研究所所長、ナノ・ライフ創新研究機構副機構長。学際的研究を推進し、イノベーション人材の育成に取り組む。専門は、生物物性科学、キラル科学、機能性薄膜、結晶光学、細胞生物学、循環型食料生産システム、バイオセンシング、マテリアルズ インフォマティクス・バイオ インフォマティクス、誘電体メタサーフェス、宇宙QOL。2024年9月より、早稲田大学先進理工学部長・研究科長。